

国内航空小包便

永吉 秀夫



航空小包便 那覇東 S56(1981).6.5 → 厚木(神奈川) S56(1981).6.7
料金内訳 第3地帯小包 3kg960 円+小包速達料 4kg450 円+小包航空料 3kg1200km 超 690 円=2100 円

国内航空小包は1969年2月1日に創設された制度で、速達小包への付加サービスとして、重量と航空輸送距離に応じた小包航空料金を加算することになっていました。紹介品の料金内訳は、写真下のキャプションをご覧ください。この制度は紹介品の差し出された約1年後の1982年6月1日に廃止されましたが、今のゆうパックはそれ自体に航空速達相当のサービスが含まれています。今ゆうパックを同じ区間で利用するための料金は1690円(80サイズ持込割)で、何と当時より低料金となっています。100サイズでも2040円です。

紹介品は宛名部分だけ切り取られた状態で差出人がわかりませんが、収集家便の雰囲気は全くありません。1000円普通切手の使用例として好ましい姿をしています。